



ひと、暮らし、
みらいのために
厚生労働省

Niigata Labour Bureau

新潟労働局

Press Release

新潟労働局発表
平成28年11月29日

新潟労働局職業安定部職業安定課

職業安定課長 平田 保

職業安定課長補佐 星野 浩

地方労働市場情報官 佐藤 和彦

TEL : 025-288-3507 (夜間) 025-288-3540

報道関係者各位

北陸ブロック内雇用情勢報告(平成28年7～9月四半期分)について

北陸ブロック(新潟県、富山県、石川県、福井県)内の雇用トピック等を含む雇用情勢報告(平成28年7～9月四半期分)について公表します。

今般、労働行政へのニーズの高まりに対応し、雇用情勢についての情報提供をより一層促進するため、四半期毎の雇用情勢等について全国のブロック毎に公表することとなり、北陸ブロックについては、新潟労働局が主要局として公表を行うものです。

※ 公表内容について

- ・「企業の生の声」については、事業所へのヒアリング等で聞かれた企業の声の中で、地域の雇用動向に関わるものや特徴的な声を集めたものを掲載しました。
- ・「担当窓口の声」については、毎回設定されたテーマに沿ってハローワークの担当者が窓口業務を通じて感じた声を集めたものであり、今回はマザーズハローワークやマザーズコーナーの窓口担当者が感じた声を掲載しました。

北陸ブロック各県の雇用動向

	前期 (平成 28年 4-6月)	平成28年7-9月期								比較
		雇用情勢判断	就業地別有効求人倍率【季調値】(対前期差) (単位:倍、ポイント)	受接地別有効求人倍率【季調値】(対前期差) (単位:倍、ポイント)	新規求人増減率※季調値で見た対前期比 (単位:%)	新規求職増減率※季調値で見た対前期比 (単位:%)	正社員有効求人倍率【原数値】(対前年同期差) (単位:倍、ポイント)	雇用保険被保険者数増減率※原数値で見た対前年同期比 (単位:%)	雇用保険受給者実人員増減率※原数値で見た対前年同期比 (単位:%)	
北陸ブロック	—	1.58 (0.01)	1.52 (0.01)	1.2	1.8	1.02 (0.11)	0.9	▲6.3	一部に弱さも見られるが、改善している	—
新潟県	—	1.37 (0.03)	1.34 (0.03)	4.0	2.2	0.89 (0.09)	0.6	▲5.8	—	—
富山県	—	1.79 (▲0.03)	1.62 (▲0.02)	▲2.4	3.5	1.15 (0.13)	0.9	▲7.4	—	—
石川県	—	1.62 (▲0.01)	1.62 (▲0.02)	▲1.2	0.0	1.06 (0.10)	1.7	▲6.9	—	—
福井県	—	1.90 (▲0.02)	1.83 (▲0.02)	1.9	0.8	1.23 (0.17)	0.9	▲5.4	—	—

※ 雇用保険被保険者数については、一般、高年齢、特例被保険者の合計値。雇用保険受給者実人員については、一般被保険者の数値である。

雇用動向におけるトピック

○製造業については、中国経済や円高の影響により一部企業において雇用調整（2～3人の小規模なもの）や休業が出ている状況もあり、今後動向を注視していく必要がある。

○石川県内で、大型ショッピングセンターが「来年春開店」予定となっており、これに係る大量求人388人（パート）が提出された。今後、ハローワーク等にて面接会を実施する。

また、大型ショッピングセンターのテナント従業員募集も今後募集が予定されている。

企業の生の声

○ 建設業

・原発事故の影響で安全基準が高くなり、昨年までは原発周辺で耐震工事等の仕事が多くあったが、今年は工事が終了となり、再稼働時期も見通せない現状で求人を出せない状況である。（新潟 設備工事業）

・仕事依頼があっても人手不足により他社に仕事をまわす事業所がある一方で、同業者の人手不足と高齢化を理由に廃業する業者の仕事がまわってくるため大変忙しい。（福井 設備工事業）

○ 製造業

・航空機のモデルチェンジを控えて受注が減っており、数年は減産の見込み。（新潟 輸送機器造）

・アルミサッシ用の建材製造業からは、例年秋から一般住宅用の受注が下降気味になるところ、今年は堅調である。また、東京オリンピックの影響もあり、ビル用製品も昨年より受注が増え、現在大変忙しい状況。

（富山 金属製品製造）

・トラックボデーの製造が好調で、これまで2、3月が繁忙期だったが、最近は1年を通じて忙しい。

（石川 輸送機器製造）

・中国経済の低迷の影響から雇用面は消極的な状況が続いてはいるが、少し回復の兆しがある模様であり、ICT建機の受注の動きがある。（注：ICT建機とは、情報通信技術（ICT）を活用した自動化建機。建設業界の人手不足や未熟練者も対応して開発されたもの。）

（石川 建設機械製造）

・求人募集に対して応募者もあり採用もしているが、定年退職者に対しての必要な人材確保ができていないとの事。他の事業所からの話でも、繊維業界全体として、高齢化しており技術の伝承をしなくてもできず、人材不足が大きな課題となっている。（福井 繊維製品製造）

マザーズハローワーク・マザーズコーナー 担当窓口の声(各局ともほぼ共通)

①どのような求職者が就職に結びつきやすいと感じているか

・就職の意欲が高く、家族のサポート（実家、義父母等）があり、子育てと仕事の両立ができることが明確な人。
・看護師、介護福祉士等の資格保有者や経理事務等の事務経験のある人

②どのような求職者が就職に結びつきにくいと感じているか

・周りに育児の協力者がいない等、保育サポートの準備がない人。
・重視する希望条件（賃金、就業場所、休日、時間）が多く、希望条件の緩和が困難な人。

③求職者が求職活動において重視している要素について

・土日祝休みで残業無し、自宅からの通勤距離、突発的な休みへの対応の可否等、育児時間を確保できること。
・育児休暇の取得実績や託児施設の有無等、企業が子育てとの両立に理解があること。
・母子家庭の場合は、賃金が高いことや正社員登録制度があること。

④最近の求職者の特徴的な動き

・時節柄、来年4月保育園入所に向けて求職活動を行う求職者が増加している。
・保育園入所ポイントを上げるため、ハローワーク以外で就職する（求人情報誌や派遣登録等）人が増加している。

・最近の傾向として、三世同居であっても、祖父母が定年延長で就労しているケースが多く、「父母の協力が得られない」等との理由により、フルタイムでの就職を断念せざるを得ない人も見受けられる。

・求人情報や各種セミナー等のイベント情報をスマホを利用して情報収集する求職者が増加している。